

市町村指定文化財取材票<<表>>

取材日	2023年	1月	20日	(記入者) 久門たつお	
取材参加者	神野	垣内	久門	島田	
取材対象先	大和郡山市：光専寺の筒井順慶坐像				

所在地	大和郡山市筒井町1533				
所有者(取材対応者)名	岡山 良住職(個人情報守秘)		連絡先 0743-56-1883		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：光専寺(真宗興正派)				
市町村指定文化財	彫刻	1 軀	筒井順慶坐像 1984(昭和59)年4月5日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	筒井順慶は18歳で僧籍に入り、像は重衣姿の僧形に刻まれている。造立は江戸時代初期と推定され彫刻技術が衰えたと思われるこの時代のもとして優れている。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	筒井順慶坐像を安置する本堂には消火器、火災報知機が設置されている。火災報知機は寺側が消防機関に通知する旧来のシステム。火災感知器と避雷針は設置されていない。	早期に火災感知器を設置していただきたい。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	以前にアライグマが本堂や庫裏の屋根裏に入り込んでいたことがあり、進入口をふさいだ。しかし、2022年に再び入り込んでいることが分かり、対策を検討している。	同じ大和郡山市の県大和民俗公園内の古民家でもアライグマ被害が出ていた。被害は広域に及んでいる。
管理者の全体的要望・提案など	アライグマの進入防止対策を進めていきたいと考えている。行政からアライグマ駆除で支援をいただければありがたい。	

取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題(修復、維持、管理・環境など)

課題として強いてあげれば火災感知器の設置が望まれる。所有者の筒井順慶木像保存会と管理者の光専寺が連携して市消防当局と協議して欲しい。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	1月	20日	(記入者) 久門たつお
取材参加者	神野	垣内	久門	島田
取材対象先	大和郡山市：光専寺の筒井順慶坐像			

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 筒井順慶坐像

厨子に収められた筒井順慶坐像	筒井順慶坐像
	
筒井順慶坐像を安置する光専寺本堂	光専寺などがある筒井城跡を示す石碑
	
文化財の由緒・説明板の有無など	記入者の感想
<p>大和の武士の名門に生まれ、筒井城や郡山城の城主も務めた筒井順慶（1549～1584）の木像で像高約70㍍。僧形で、厨子の背面の朱書きで1812（文化9）年の奈良仏師の制作とみられている。筒井地区の人たちが講を組織して守ってきた。一時、県外に流出したが約40年前に同地区に戻り、筒井城跡にある光専寺に寄託された。同寺近くに市が設置した説明板「筒井城と筒井氏」に像の写真も登場している。</p>	<p>所有者は筒井順慶木像保存会で、会長は筒井地区自治連合会長が兼務している。別に筒井地区有志で組織する筒井順慶顕彰会があり、順慶の業績などをまとめたパンフレットを作成。木像のある本堂で毎年9月に順慶忌が行なわれており、筒井出身の偉人・順慶を慕う人たちが多く感じた。木像はそのシンボルとなっているようで、末長く大切にしていきたい。</p>